



新研究所完成に当たって

専務取締役
技術研究所長 松岡 繁
Shigeru Matsuoka

新技術研究所の発足に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

技術研究所の概要は本号で紹介の通りであります。我々社員一同が永年待ち望んでまいりました研究開発環境の整備という意味で弊社にとっては画期的な出来事です。

ご承知の通り、弊社は1954年に(株)神戸製鋼所と米国フアウドラー社との合弁企業として発足し、グラスライニング機器の製造技術、引き続いて水処理装置、さらに冷却塔の製造技術など次々に技術導入し、日本の産業の発展に貢献してまいりました。また、導入技術の習得消化に伴い、これら技術援助契約の終結に努め、1989年、米国側の資本撤退もあり社名を神鋼フアウドラーから神鋼パンテックに変更致しました。そして1990年、フアウドラー社との技術援助契約の終結をもって主な契約を全て解消し、技術開発形企業として出発致しました。

一方世界的に見ますと、冷戦の終結、技術先進国の技術の出しやり、工業化後進国の追い上げなど、企業競争はますます激しさを増しています。その中で皆様と共に生き残り成長していくためには、製品のコストダウンだけでは不十分であり、時間はかかりますが独自技術の開発が最も重要であります。

弊社では技術援助契約期間中も独自の技術開発に努め、特にこの10年は高効率リアクター、電気浸透式加圧脱水機スーパーフィルトロン、高粘度液蒸発機エクセバ等、幾つもの特長ある新製品を発表することが出来ましたが、この技術研究所の完成を機に、更に基礎技術を充実し、基盤技術から商品の開発まで幅広く対応できるよう設備・要員の充実に注力する所存であります。

また研究所内には攪拌テスト装置、攪拌槽内流動測定装置、粉体混合機、粉碎機、遠心分離機、薄膜蒸発機、電気浸透式加圧脱水機などのテスト装置を準備し、皆様の問題の解決、仕様の確認へのご利用をお待ちしております。

更に、超純水から廃水・下水まで水処理技術の向上のための諸設備を集約すると共に、ウルトラクリーン設備で超超純水・高純度薬品向けの新材料の開発にも取り組む予定であります。

そして、皆様のご繁栄と共にお役に立てる研究所として当研究所が充実していくことができると念願致しております。

最後に、これまで弊社に対して賜りましたご高配に厚くお礼申し上げますと共に、今後ともなお一層のご支援をお願い申し上げます。